

参加費
無料

★ウェビナー★

四国の森の未来 フォーラム

生物多様性を高める森林施業

30by30、ネイチャーポジティブ、自然共生サイトって？

生物多様性を高める
森林施業って？

保持林業って？

日時

11/18 (火) 13:30～15:30

対象

四国内の森林・林業関係者の皆さま
(県、市町村、森林組合、林業事業体、森林所有者 等)

講師

環境省 中国四国地方環境事務所
地域生物多様性増進室長

秀田 智彦

林野庁 森林利用課
花粉発生源対策調整官

津山 藍

森林総合研究所 四国支所
主任研究員

山浦 悠一

四国森林管理局
計画課長

福長 絢一郎

プログラム

裏面をご覧ください

場所

オンライン
(Microsoft Teams)

申込

右記の二次元コードを
読み込みフォームを入力
(申込×切 11月10日)

参加申込はこちら



主催：林野庁 四国森林管理局

WEB：www.rinya.maff.go.jp/shikoku

E-mail：shikokunomorinomirai@maff.go.jp

〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30

四国の森の未来フォーラム

講演プログラム

13:30

開会 主催者挨拶 四国森林管理局長 田中晋太郎

13:35

～

14:05

地域生物多様性増進法の施行と自然共生サイト

これまでの保護地域と異なり、人手が入ることで形成されている生態系の維持・回復に向けた民間・自治体の取組を後押しする新しい仕組みについて解説。

環境省中国四国地方環境事務所

地域生物多様性増進室長 秀田 智彦 氏



14:05

～

14:35

森林の生物多様性を高めるための林業経営

生物多様性の損失が社会・経済の大きなリスクとなっていることが認識される中、森林の生態系サービスの維持・向上は林業経営の上でも重要になってきていることをご紹介します。

林野庁 森林利用課

花粉発生源対策調整官 津山 藍 氏



14:35

～

15:15

保持林業の研究から実践へ ～人工林主伐時に広葉樹を残す～

人工林で木材生産と生物多様性保全を両立させる保持林業。欧米の歴史を踏まえ、北海道有林での大規模実験から実践へと歩んだ14年の成果と今後の展望を共有。

森林総合研究所四国支所

主任研究員 山浦 悠一 氏



15:15

～

15:30

実践事例紹介 ～国有林の施業事例から～

保護林・緑の回廊における保護やモニタリングの取組のほか、人工林の施業地における生物多様性保全の取組について紹介。

林野庁 四国森林管理局

計画課長 福長 絢一郎

